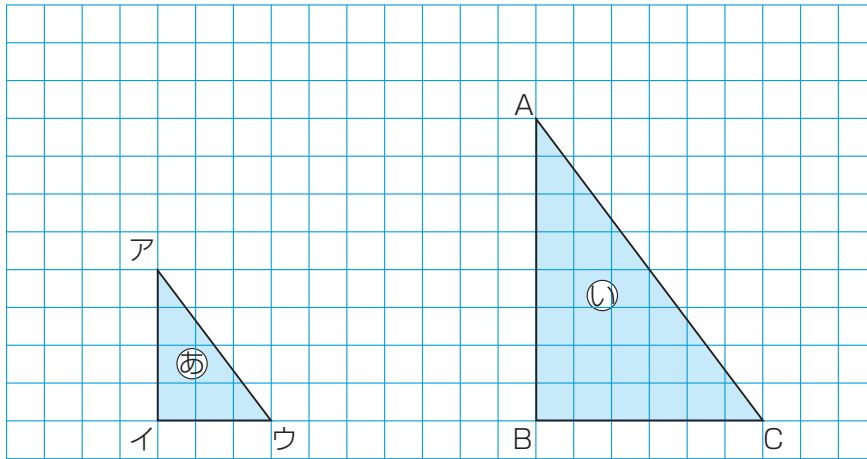




㊦と㊧の形をくらべてみましょう。



① 対応する辺の長さを比で表しましょう。

辺アイ : 辺 AB = 4 :

辺イウ : 辺 BC = 3 :

② ㊦と㊧では、対応する辺の長さの比はすべて 1 :  になっています。

③ 対応する角の大きさをくらべてみましょう。

角ア = 角       角イ = 角       角ウ = 角

④ ㊦と㊧では、対応する  の大きさはすべて等しくなっています。

⑤ 対応する辺の長さの比がすべて等しく、対応する角の大きさがそれぞれ等しくなるようにもとの図を大きくした図を  といいます。

また、同じようにして小さくした図を  といいます。

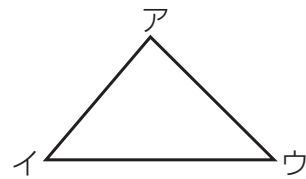
⑥ ㊧は㊦の  倍の拡大図、㊦は㊧の  の縮図といいます。

6年	名	
	組	前

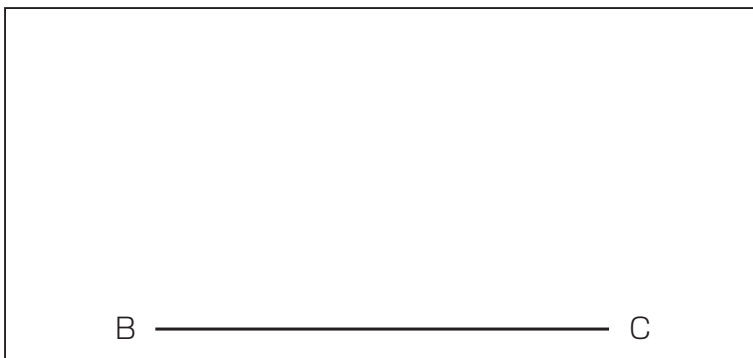


◆拡大図と縮図の作図

右の三角形アイウの2倍の拡大図をかきます。辺イウの長さを2倍して、対応する辺BCをかきました。次のかき方で、つづきをかきましょう。



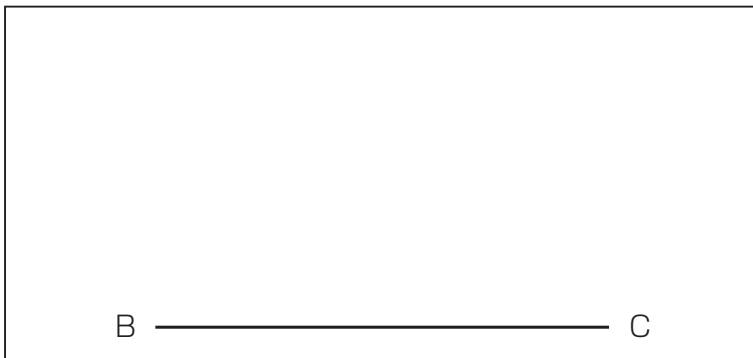
① 3 辺の長さを使ってかきましょう。



辺の長さをはかり取って2倍するといいよ。



② 2 辺の長さと、その間の角度を使ってかきましょう。



角イと同じ大きさになるように角Bをかいて…。



③ 1 辺の長さと、その両はしの角度を使ってかきましょう。



合同な三角形と同じようにしてかくことができるね。

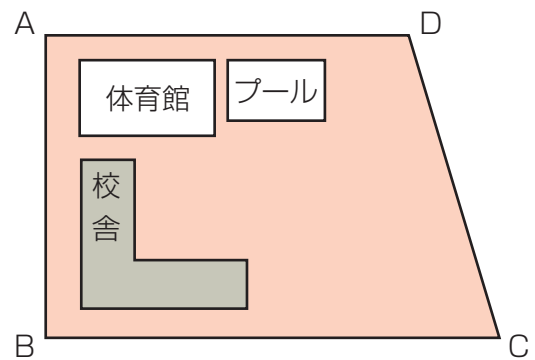


6年	名	
	組	前



◆縮図

右の図は、学校のしき地を縮図で表したものです。  
縮図から実際の長さを求めましょう。



- ① この縮図では、ABの実際の長さ120mを4cmに縮めて表しています。  
この縮図で1cmの長さは、実際には何mになるでしょうか。

120mが4cmを表すから  ÷  =  (m) です。

- ② この縮図は、実際の長さの何分の1に縮めているでしょうか。

30mは  cm だから  分の1です。

- ③ 実際の長さを縮めた割合のことを  といいます。

- ④ BCの実際の長さは何mでしょうか。

この縮図の縮尺は  分の1なので、縮図の長さを  倍します。

縮図ではBCの長さは6cmなので、実際の長さは次の式で求められます。

$$\begin{aligned} \text{  } \times \text{  } &= \text{  } \text{ (cm)} \\ &= \text{  } \text{ (m)} \end{aligned}$$